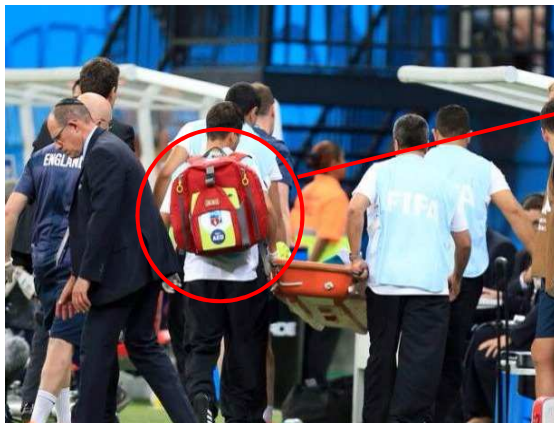


旭化成ゾールメディカル株式会社  
救命医療機器事業本部

AED Plusに関する最近のトピックスをご紹介します。

## 1. AED PlusがFIFA ワールドカップブラジル大会に参加しています。

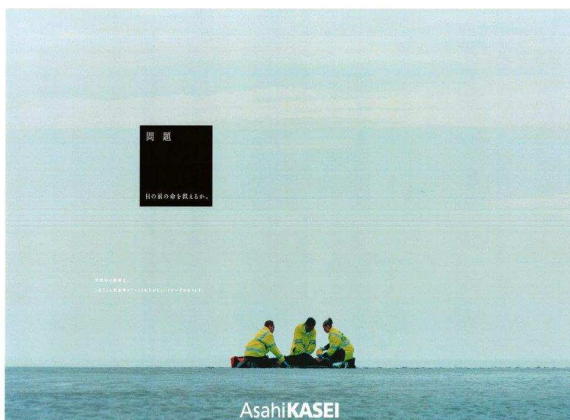
ZOLL社AED PlusはFIFAに採用され、加盟全209協会に救命キットの主要機器として配布されましたが、現在開催中のワールドカップでも、ピッチそばに待機する救護班に携帯されています。



救命バッグに収納された  
AED Plus

## 2. 旭化成の企業広告「目の前の命を救えるか。」篇が、読売広告大賞を受賞。

旭化成の企業広告「目の前の命を救えるか。」篇が、読売新聞の「読売広告大賞 読者が選ぶ 広告の部 最優秀賞」を受賞しました。企業のイメージ広告ではありますが、一般の方々の救命活動への理解と関心を高める一助になればとの思いが込められています。



旭化成は救急医療分野へ進出。  
AEDをはじめ、  
様々な技術を進化させてゆきます。

全国の公共施設に普及しつつあるAED。それは、停止してしまった心臓の心電図を解析し、必要に応じて電気ショックを与える医療機器である。

旭化成は、米国の大手救急医療会社ゾール・メディカル社とともに、AEDをはじめとする救急医療機器の開発・販売をスタートした。心停止で倒れた人に対して最も大切なのは、まず「胸骨圧迫」である。気道を確保し、胸の中央を両手で力強く、一定のリズムで押し続ける。この初動を素早く行うことで、救命率は2-3倍上がる。

新しいAEDは、音声で正しい装着と有効な胸骨圧迫を誘導し、一般の人でも救命処置が行えるようになっている。

誰かが倒れた時助けられるのは、救急隊員ではなく、たまたまその場に居合わせた人である。

進んで手を差し伸べる勇気をサポートし、ともに適切な処置を行える機器をつくってゆきたいと思う。

昨日まで世界になかったもの。「進化した救急医療機器」  
詳しくは [www.asahi-kasei.co.jp](http://www.asahi-kasei.co.jp)  
昨日まで世界になかったものを。